

あなたとあなたの大切な人を守るために



堺市消防局長 新 開 実

堺市は、大阪府の中央部南寄りに位置し、古代には仁徳天皇陵古墳をはじめとする百舌鳥古墳群が築かれ、中世には「東洋のベニス」と称された国際貿易港・商業都市として栄え、世界でも珍しい環濠都市を形成し、日本第一の文化・先進都市を築きました。そして、堺の職人・商人が全国各地に活動の場を広げたことから様々な技術や文化が全国に広がり、「ものの始まりなんでも堺」と云われ、中世の多くのものが堺発祥として生まれました。また、海外交易の拠点として「自由・自治都市」を形成し、わが国の経済、文化の中心地として繁栄してきました。戦後は、臨海コンビナートと泉北ニュータウンが造成され、今では約83万人の人口を有する政令指定都市・堺は、南大阪の中核的都市として、関西の文化・経済を牽引しています。令和元年7月には、仁徳天皇陵古墳をはじめ堺市、藤井寺市、羽曳野市に広がる「百舌鳥・古市古墳群」が世界文化遺産に登録されました。今後も「歴史・文化のまち堺」として更なる発展を目指しています。

当局は、従来から消防事務を受託してきた隣接の高石市に加え、令和3年4月から大阪狭山市の消防事務を受託し、1本部9署1分署9出張所、職員1,055名（再任用職員含む）、堺市美原消防団48名の体制（令和3年10月1日現在）で、管轄面積173.04 km²、約94万人の市民の皆さまの安全安心の確保に取り組んでいます。また、和泉市と令和6年の運用開始を目途に消防指令業務の連携協力について協議を進めており、更なる消防体制の広域的な運用を図ります。

近年、全国各地では台風や集中豪雨などの自然災害が猛威を振るうとともに、本市においても南海トラフ巨大地震や上町断層帯地震による大災害の発生が懸念されているなか、本市では、令和4年4月に「堺市総合防災センター」をオープンしました。

当センターは、初の体験型防災学習施設として消防職員・消防団員の教育、訓練だけでなく、自主防災組織、地域の防災リーダー、企業の従業員や市民の専門的・実践的な訓練の場として、「あなたとあなたの大切な人を守るために」というコンセプトを基に、自助、共助の大切さを理解し、防災を総合的に学んでいただける施設となっています。また、大規模災害発生時における広域的な災害対応拠点としての機能も備えています。

地震災害、風水害、特殊災害や集団災害、また新型コロナウイルス感染症など、我々消防を取り巻く災害は多岐にわたります。あらゆる災害の最前線で市民の命と安全を守るため、そして自らを守るため、我々は体制を整え、訓練・研鑽し続けるとともに、近隣自治体との連携協力を推進し、消防力の更なる強化を図ります。また、当センターを最大限に活用し、自助・共助・公助が一体となった災害に強いまちづくりを市民とともに様々な取組みを展開しながら推進してまいります。

